

花見川区



ヤマユリ **B**



ハダクロトンボ **C**



ベンケイガニ **B**



コサギ **B**



キセキレイ **B**



ニホンカナヘビ **D**

稲毛区



ヤブラン



ミズヒキ



シロバナタンポポ



オンブバッタ



ナミテントウ



ハシボンガラス

美浜区



ヒガンバナ



ホトケノザ



イチモンジセセリ



コアシサシ **A** (幼鳥)



サンコウチョウ **A**

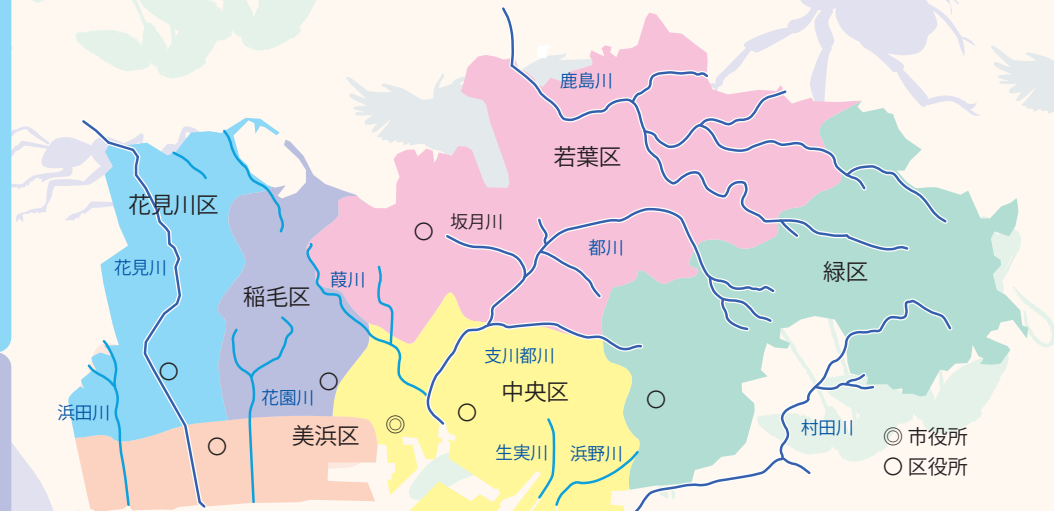


ミソサザイ **C**

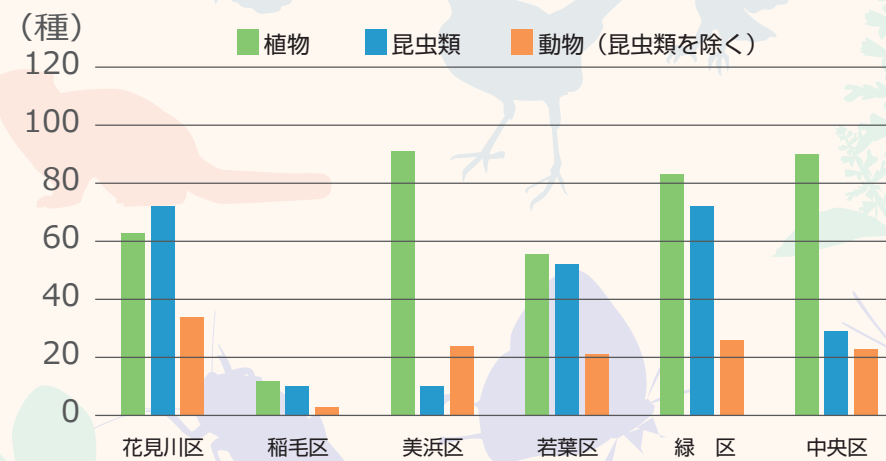
身近な生き物さがし

千葉市 いきものミニ図鑑

2022～2024年度の「身近な生き物さがし」において、皆さんからレポートされた主な生き物を区ごとにとりまとめました。



区ごとのレポート種数



レッドリストのカテゴリー (生き物名の後の記号)

環境省 (2020)

絶滅 (**EX**)、野生絶滅 (**EW**)、絶滅危惧 I 類 (**CR+EN**)、絶滅危惧 I A 類 (**CR**)、絶滅危惧 I B 類 (**EN**)、絶滅危惧 II 類 (**VU**)、準絶滅危惧 (**NT**)、情報不足 (**DD**)、絶滅のおそれのある地域個体群 (**LP**)

千葉県 (植物・菌類 2017)

消息不明・絶滅生物 (**X**)、野生絶滅生物 (**EW**)、最重要保護生物 (**A**)、重要保護生物 (**B**)、最重要・重要保護生物 (**A-B**)、要保護生物 (**C**)、一般保護生物 (**D**)、保護参考雑種 (**RH**)

千葉県 (動物 2019)

消息不明・絶滅生物 (**X**)、最重要保護生物 (**A**)、重要保護生物 (**B**)、要保護生物 (**C**)、一般保護生物 (**D**)

千葉市

消息不明・絶滅生物 (**X**)、最重要保護生物 (**A**)、重要保護生物 (**B**)、要保護生物 (**C**)

若葉区



ドクダミ



コナギ



ペニシジミ



ノコギリクワガタ **C**



ハイロチヒフサヤステ **A**



ギバチ **V** **B** **A**

緑区



ツユクサ



カラスウリ



オオアオイトトンボ **C**



ノシメトンボ



メジロ **C** (幼鳥)



ヒガシニホントカゲ **B** **B**

中央区



ネジバナ



エノコログサ



シオカラトンボ



オオバン **C** **C**

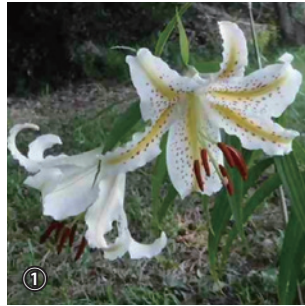


タヌキ **B**



アオダイショウ **D** **C**

花見川区



①ヤマユリ

日本特産のユリです。夏に大きな白い花を咲かせ、甘く濃厚で強い香りを漂わせます。林の周りなどで見られます。

②ハグロトンボ

真っ黒な翅が特徴のカワトンボの仲間です。樹林が近い岸際に植物が繁茂する川や水路で見られます。

③ベンケイガニ

全身が赤いカニの仲間です。背中の中の模様が名前にベンケイ（弁慶）とつきました。河口の湿地で見られます。

④コサギ

小さいシラサギで、一年を通じて河川などの水辺で見られます。足指が黄色いのが特徴です。

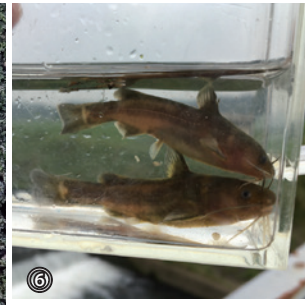
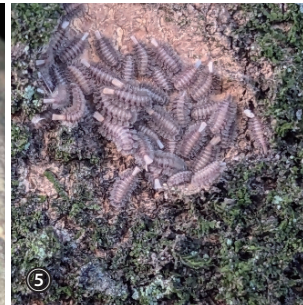
⑤キセキレイ

胸から腰にかけての黄色が目立つセキレイの仲間です。尾を上下に振ります。平地から高地までの川沿いなどで見られます。

⑥ニホンカナヘビ

背中から尾にかけては四角いうろこが並び、目から脇腹には白い線が入っています。草地や人家の庭先などで見られます。

若葉区



①ドクダミ

夏に中心の軸に淡い黄色の花をたくさん咲かせます。林などの湿り気のある日陰で見られます。

②コナギ

夏から秋に青紫色の花を葉より低く咲かせます。民間薬として用いられることもあります。田んぼや沼などで見られます。

③ベニシジミ

前翅の表は黒い斑点のあるオレンジ色にこげ茶色の縁取りがあります。裏は表のこげ茶色の部分が灰色です。草地で普通に見られます。

④ノコギリクワガタ

大型のクワガタムシです。大あごの内側の歯がのこぎり状になっています。成虫は夏から秋にクヌギなどの樹液に集まる姿が見られます。

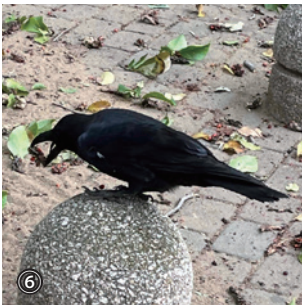
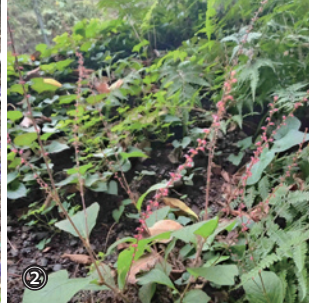
⑤ハイイロチビフサヤスデ

尾部に特徴的なブラシ状の毛の束があります。公園などの木の樹皮をめくると見られます。

⑥ギバチ

河川上流に生息するナマズの仲間です。ひれの棘には毒があります。水生昆虫やエビなどを食べます。

稲毛区



①ヤブラン

夏から秋にたくさんの淡い紫色の花を房のように咲かせます。山地の林などで見られます。

②ミズヒキ

夏から秋に茎にまばらに小花を咲かせます。花は上から見ると赤色、下から見ると白色に見えます。林や道端などで見られます。

③シロバナタンポポ

春に白色の花を咲かせます。ほかのタンポポと比べて葉が立ち上がっています。道端や空き地などで普通に見られます。

④オンブバッタ

大きな体の雌が雄を背負っている姿が、親が子をおんぶしているように見えることから、この名前がつきました。成虫は夏から秋に見られます。

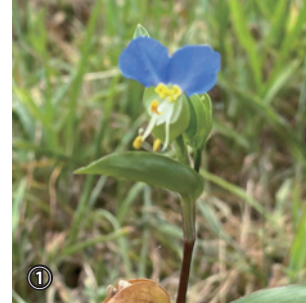
⑤ナミテントウ

最も普通に見られるテントウムシです。翅の色や模様は様々ですが、地域によって特徴があります。成虫の姿で越冬します。

⑥ハシボソガラス

全身が黒色です。おじぎをしながらかった声で鳴きます。市街地や農耕地などで見られます。

緑 区



①ツクサ

夏から秋に鮮やかな青い花を咲かせます。昔から花の汁は染料に利用されてきました。

②カラスウリ

夏から秋に白い花を夜に咲かせます。つる性で、林縁や平地のやぶで木に絡みついた状態で見られます。

③オオアオイトトンボ

背面は金属光沢のある緑色、胸は黄緑色をしています。樹木が周りに多い池や沼で見られます。

④ノシメトンボ

翅の先にこげ茶色の模様があるアカトンボ（アカネ属）です。田んぼの周りなどで見られます。

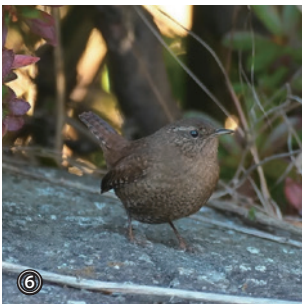
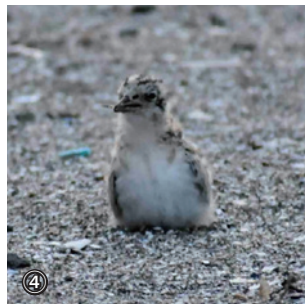
⑤メジロ

目の周りの白い縁取りが名前の由来です。市街地や公園、林などで見られます。

⑥ヒガシニホントカゲ

若い時の背面は黒地に金色の縞模様、尾は金属光沢のある鮮やかな青色です。成長するにつれて茶色っぽい色合いに変わります。人家周辺や林の周りなどで見られます。

美浜区



①ヒガンバナ

秋に鮮やかな赤い花を咲かせます。道端や林縁などで見られます。

②ホトケノザ

春に唇の形のような紅紫色の花を咲かせます。畑や道端などで見られます。

③イチモンジセセリ

翅の銀色の紋の並び方が名前の由来です。秋に集団で大移動することが知られています。市街地や水田などで見られます。

④コアジサシ

日本には夏鳥として渡来するカモメの仲間です。河原や砂浜でコロニーを作って集団繁殖します。平成5年に千葉市の鳥に指定されました。

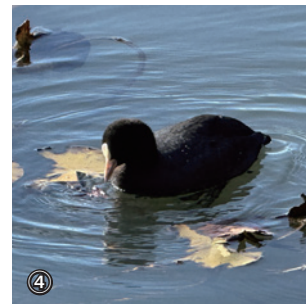
⑤サンコウチョウ

頭から首は黒色で、青色のアイリングとくちばしがあります。平地から山地の林で見られます。

⑥ミソサザイ

日本で最も小さな鳥のひとつです。全身が茶褐色で、羽には黒褐色の斑の模様があります。林の溪流や沢沿いにいることが多いです。

中央区



①ネジバナ

春から夏に淡い紅色の花をらせん状につけて咲かせます。日当たりの良い草地などで見られます。

②エノコログサ

別名「ネコジャラシ」として親しまれています。日当たりの良い道端や荒地などで普通に見られます。

③シオカラトンボ

若い時は淡い黄色ですが、雄は徐々に灰色がかった青色に変わります（写真は雄）。田んぼや水路、公園の池などで見られます。

④オオバン

全身が黒く、額からくちばしが白い水鳥です。河川や沼、公園の池などで見られます。

⑤タヌキ

雑食性で、小動物や果実類を食べます。複数のタヌキが同じ場所に糞をする「溜糞」と呼ばれる習性があります。

⑥アオダイショウ

青みがかった褐色やくすんだ緑色の体に縦縞模様がある無毒のヘビです。樹上生が強いですが、河原や田畑で見かけることもあります。